

株式会社タケエイ(東1: 2151)

2020年3月期
決算補足説明資料



台風15号・19号の災害廃棄物対応現場(左:千葉県館山市波左間 右:横浜市金沢区福浦)

<累計>

単位: 百万円

	2019/3 <実績>		2020/3 <予想>			2020/3 <実績>		
	売上高比		売上高比	前年同期比	売上高比	前年同期比		
売上高	—	32,271	—	+13.4%	—	37,713	+16.9%	
営業利益	6.6%	2,125	8.5%	+45.8%	8.7%	3,298	+55.2%	
経常利益	5.6%	1,814	7.7%	+54.4%	8.0%	3,025	+66.8%	
当期純利益◆	0.9%	275	4.1%	+445.5%	4.7%	1,765	+540.5%	

◆親会社株主に帰属する当期純利益 ※百万円未満切捨て

<四半期>

単位: 百万円

	第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	<実績>	売上高比	前年同期比	<実績>	売上高比	前年同期比	<実績>	売上高比	前年同期比	<実績>	売上高比	前年同期比
売上高	8,439	—	+14.4%	9,305	—	+18.3%	9,545	—	+18.7%	10,422	—	+16.0%
営業利益	470	5.6%	+126.5%	964	10.4%	+82.3%	788	8.3%	+13.3%	1,075	10.3%	+55.2%
経常利益	429	5.1%	—	827	8.9%	+67.1%	724	7.6%	+8.7%	1,044	10.0%	+58.5%
四半期純利益◇	221	2.6%	—	459	4.9%	—	361	3.8%	-14.0%	723	6.9%	+93.9%

◇親会社株主に帰属する四半期純利益 ※百万円未満切捨て

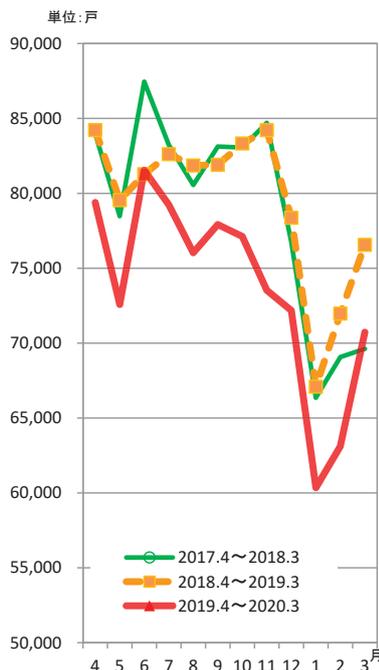
業績に影響を与えた要因

・㈱タケエの業績が順調に推移した結果、売上高・営業利益が前年同期比で大幅に伸長し、グループ全体の業績を牽引した。

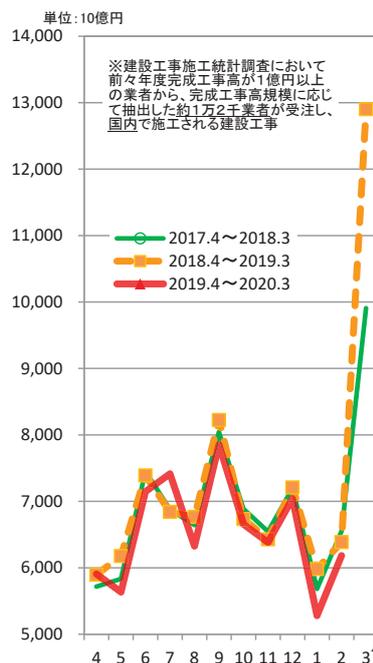
市場環境

(出所: 国土交通省)

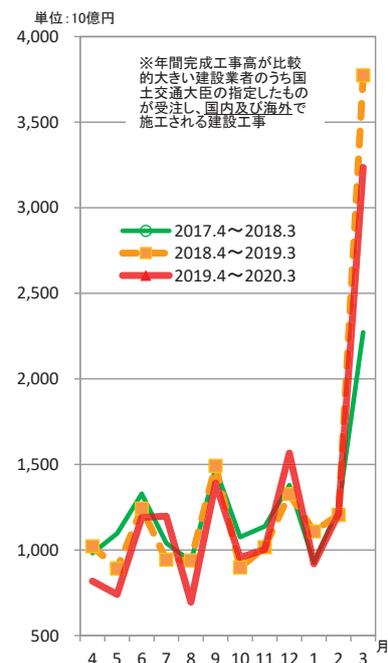
新設住宅着工戸数



建設工事受注



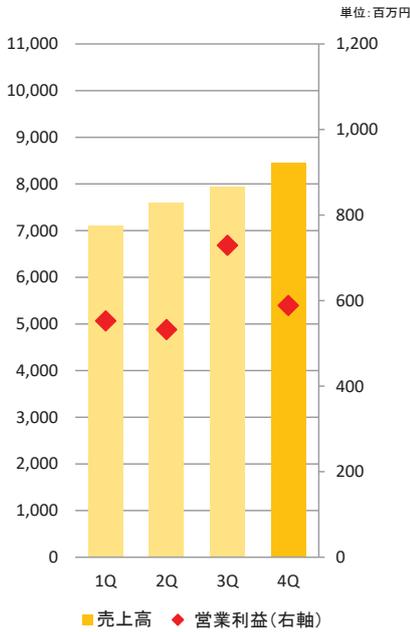
建設工事受注(大手50社)



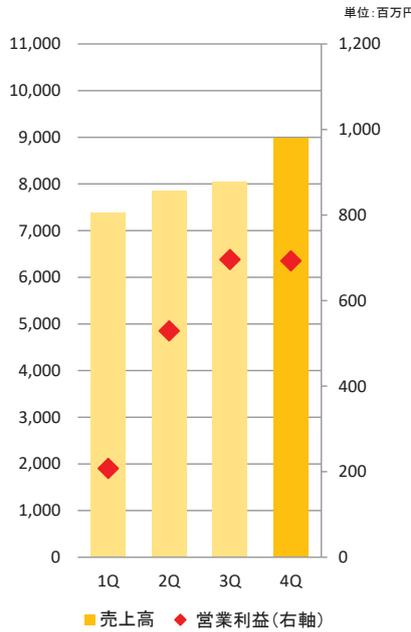
※「建設工事受注」のみ、公表されている2月度までの数値にて作成

直近3事業年度における四半期決算比較【連結】

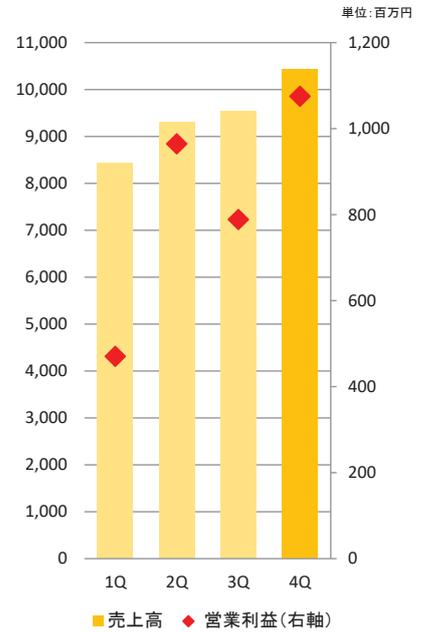
2018年3月期
売上高・営業利益



2019年3月期
売上高・営業利益

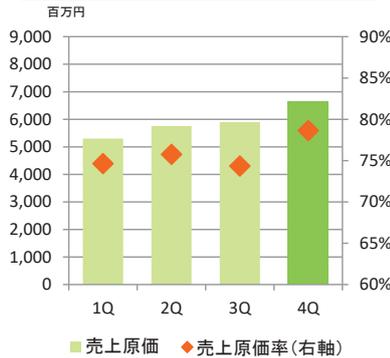


2020年3月期
売上高・営業利益

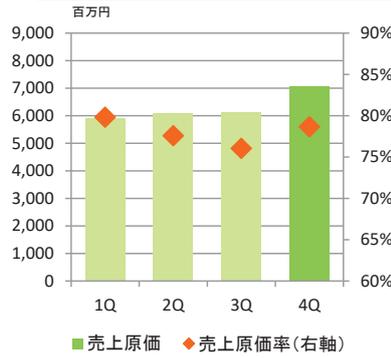


直近3事業年度における四半期決算比較【連結】

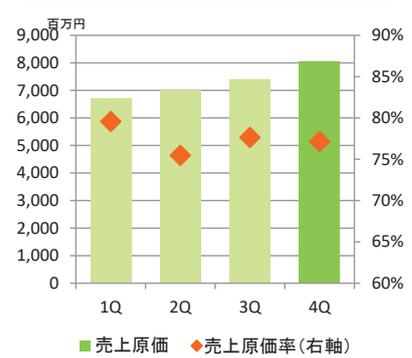
2018年3月期
売上原価・売上原価率



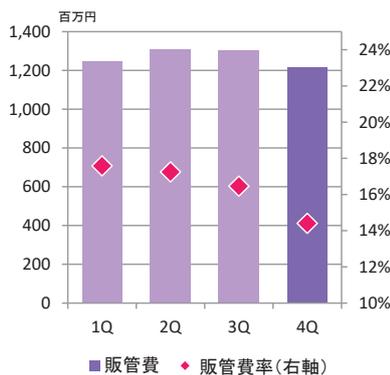
2019年3月期
売上原価・売上原価率



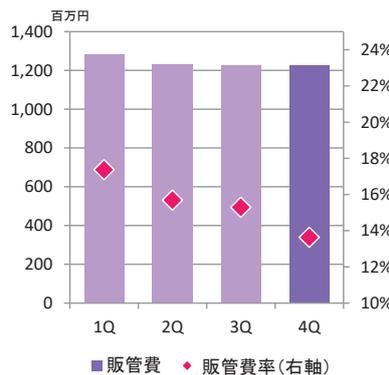
2020年3月期
売上原価・売上原価率



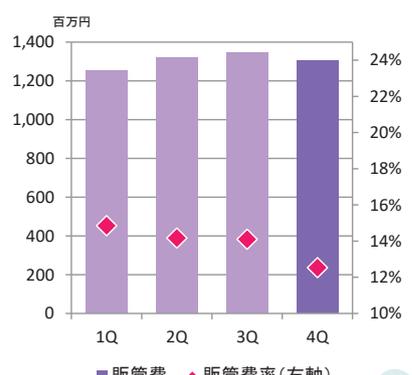
販管費・販管费率



販管費・販管费率

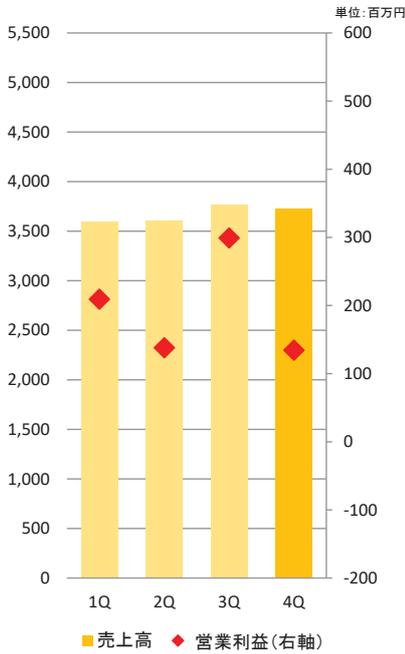


販管費・販管费率

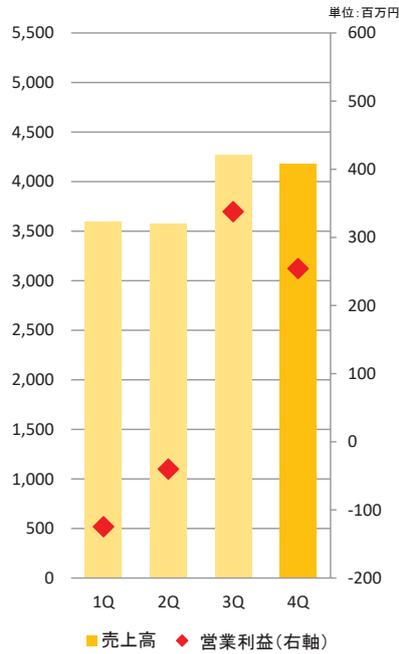


直近3事業年度における四半期決算比較【単体】

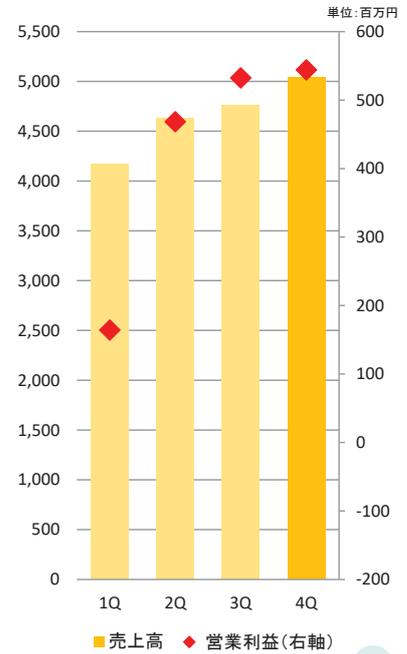
2018年3月期
売上高・営業利益



2019年3月期
売上高・営業利益

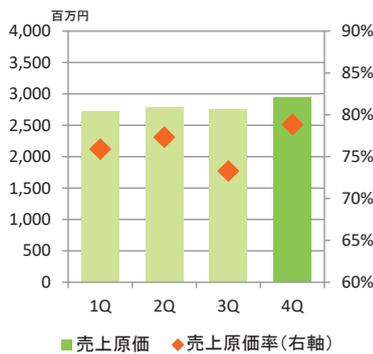


2020年3月期
売上高・営業利益

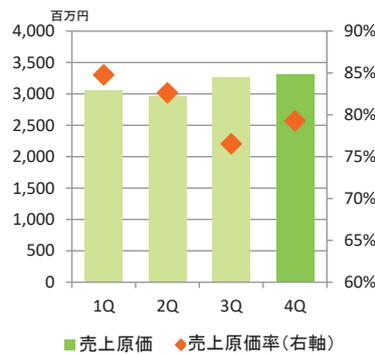


直近3事業年度における四半期決算比較【単体】

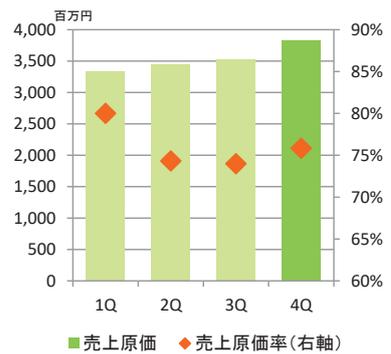
2018年3月期
売上原価・売上原価率



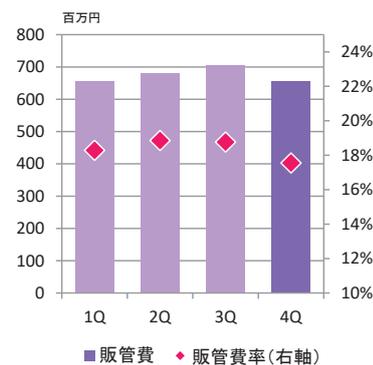
2019年3月期
売上原価・売上原価率



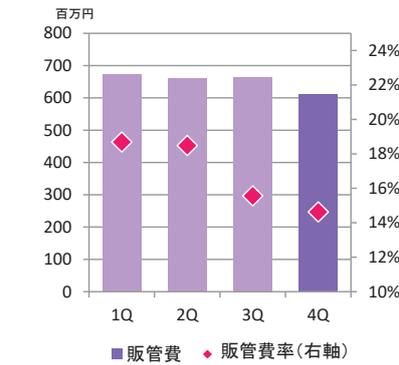
2020年3月期
売上原価・売上原価率



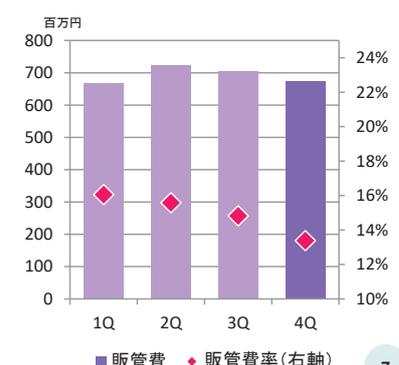
販管費・販管費率



販管費・販管費率



販管費・販管費率



事業カテゴリー別売上高及び利益【連結】 <累計>

単位：百万円

	売上高			営業利益			営業利益率	
	2019/3	2020/3	前年同期比	2019/3	2020/3	前年同期比	2019/3	2020/3
連結	32,271	37,713	+16.9%	2,125	3,298	+55.2%	6.6%	8.7%
廃棄物処理・リサイクル事業	23,690	26,374	+11.3%	1,602	2,614	+63.1%	6.8%	9.9%
(株)タケエイ(単体)	15,630	18,604	+19.0%	427	1,709	+300.3%	2.7%	9.2%
マテリアル&ランドフィル	8,060	7,771	-3.6%	1,175	904	-23.0%	14.6%	11.6%
再生可能エネルギー事業	4,459	6,990	+56.8%	226	297	+31.0%	5.1%	4.2%
環境エンジニアリング事業	5,129	5,680	+10.7%	100	217	+116.6%	2.0%	3.8%
環境コンサルティング事業	1,435	1,306	-9.0%	166	148	-10.9%	11.6%	11.3%
連結消去	-2,441	-2,637		30	23			

※百万円未満 四捨五入(連結数値のみ切捨て)

注1： 事業カテゴリー別の数値は、グループ各社の連結消去前売上高、営業利益を単純合算
 注2： 公表日時点で監査未了

グループ各社の売上／営業利益【連結】 <累計>

単位: 百万円

会社名	売上高			営業利益			営業利益率		主な業務
	2019/3	2020/3	前年同期比	2019/3	2020/3	前年同期比	2019/3	2020/3	
連結	32,271	37,713	+16.9%	2,125	3,298	+55.2%	6.6%	8.7%	
<廃棄物処理・リサイクル事業>									
(株)タケエイ	15,630	18,604	+19.0%	427	1,709	+300.3%	2.7%	9.2%	建設廃棄物等の収集運搬・中間処理・再資源化・最終処分
<マテリアル>									
(株)池田商店	841	671	-20.2%	281	151	-46.2%	33.4%	22.5%	再生骨材・再生砕石への再資源化
(株)ギプロ	803	746	-7.1%	290	277	-4.5%	36.1%	37.1%	石膏ボードの再資源化
(株)グリーンアローズ関東	383	342	-10.7%	8	-66	—	2.1%	—	石膏ボードの再資源化
(株)グリーンアローズ東北	226	261	+15.7%	-37	-23	—	—	—	石膏ボードの再資源化
(株)タケエイメタル	1,146	831	-27.5%	95	29	-69.4%	8.3%	3.5%	鉄・非鉄スクラップの再資源化
東北交易(株)	248	243	-2.0%	35	25	-29.3%	14.2%	10.2%	汚泥・燃えがら・ばいじん類・鉱さい等由来の再生砕石製造(再資源化)
イコールゼロ(株)	1,487	1,496	+0.6%	86	113	+31.4%	5.8%	7.6%	廃液処理・有害産業廃棄物処理・再資源化
(株)タケエイグリーンリサイクル	639	790	+23.8%	-40	22	—	—	2.8%	生木等の再生資源化・再生エネルギー原料化
<ランドフィル>									
(株)北陸環境サービス	1,136	1,109	-2.4%	432	323	-25.4%	38.0%	29.1%	管理型最終処分場の運営・廃プラスチックの再資源化
(株)信州タケエイ	1,037	1,175	+13.2%	33	67	+102.2%	3.2%	5.7%	産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬・中間処理・再資源化・解体等
(株)タケエイエナジー&パーク	113	107	-5.9%	20	16	-20.3%	17.7%	15.0%	最終処分場の跡地利用(パークゴルフ場運営・太陽光発電)
(株)門前クリーンパーク	—	—	—	-29	-30	—	—	—	<事業準備会社>管理型最終処分場
<再生可能エネルギー事業>									
(株)T・Vエナジーホールディングス	—	—	—	※※ -0.2	※※ -0.3	—	—	—	再生可能エネルギー事業への投融資・運営
(株)津軽バイオマスエナジー	1,556	1,560	+0.2%	144	180	+25.2%	9.2%	11.6%	木質バイオマス発電
(株)花巻バイオマスエナジー	1,454	1,432	-1.5%	110	121	+10.8%	7.5%	8.5%	木質バイオマス発電
(株)田村バイオマスエナジー	—	—	—	-39	-52	—	—	—	<事業準備会社>木質バイオマス発電
(株)横須賀バイオマスエナジー	—	295	—	-25	-226	—	—	—	木質バイオマス発電 ※2019年11月1日より営業開始
(株)大仙バイオマスエナジー	204	1,626	+698.2%	-39	93	—	—	5.7%	木質バイオマス発電
花巻バイオチップ(株)	632	652	+3.3%	16	34	+104.1%	2.6%	5.1%	木質バイオマス発電用燃料の製造・供給
(株)津軽あつぷるパワー	176	225	+27.7%	16	25	+50.0%	9.3%	10.9%	小売電気事業
(株)花巻銀河パワー	369	353	-4.3%	44	53	+21.9%	11.8%	15.0%	小売電気事業
(株)大仙こまちパワー	67	669	+891.5%	※※ -0.2	52	—	—	7.8%	小売電気事業
(株)横須賀アーバンウッドパワー	—	178	—	—	16	—	—	9.3%	小売電気事業 ※2019年11月1日より営業開始
<環境エンジニアリング事業>									
富士車輛(株)	5,129	5,680	+10.7%	100	217	+116.6%	2.0%	3.8%	環境プラント・車輛等の開発・製造・販売
<環境コンサルティング事業>									
環境保全(株)	743	743	+0.0%	74	86	+15.5%	10.0%	11.6%	環境計量証明事業
(株)アースアプレイザル	692	563	-18.6%	92	62	-32.3%	13.3%	11.1%	環境コンサルティング
連結消去	-2,441	-2,637		30	23				

※百万円未満 四捨五入(連結数値のみ切捨て)

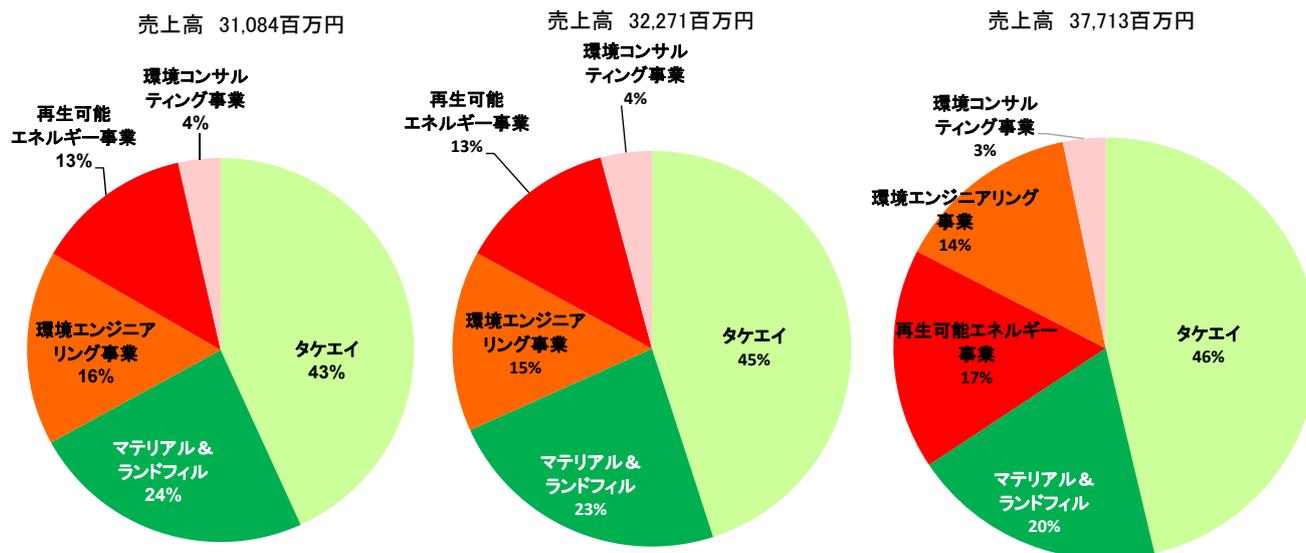
※※少額のため小数点以下まで表示

事業カテゴリー別[タケエイ別記]売上構成比 (連結)

2018年3月期

2019年3月期

2020年3月期



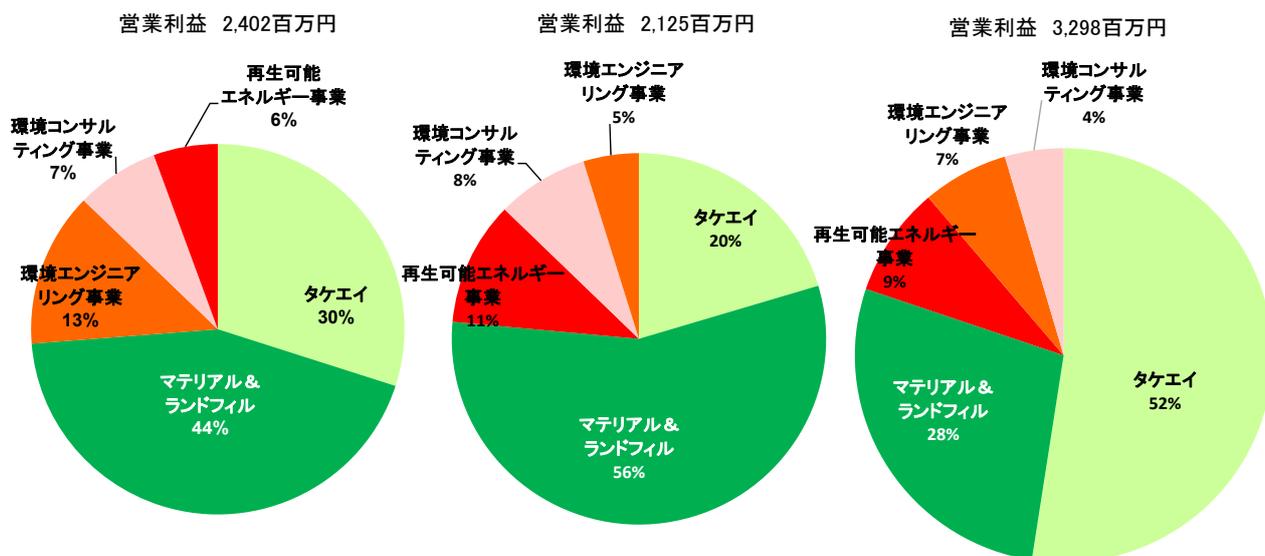
(注) 1: 事業カテゴリーのうち、廃棄物処理・リサイクル事業のタケエイとその他(マテリアル&ランドフィル)を分けて記載
 (注) 2: 事業カテゴリー別の比率は、グループ各社の連結消去前売上高の単純合算を100とした構成比

事業カテゴリー別[タケエイ別記]営業利益構成比 (連結)

2018年3月期

2019年3月期

2020年3月期

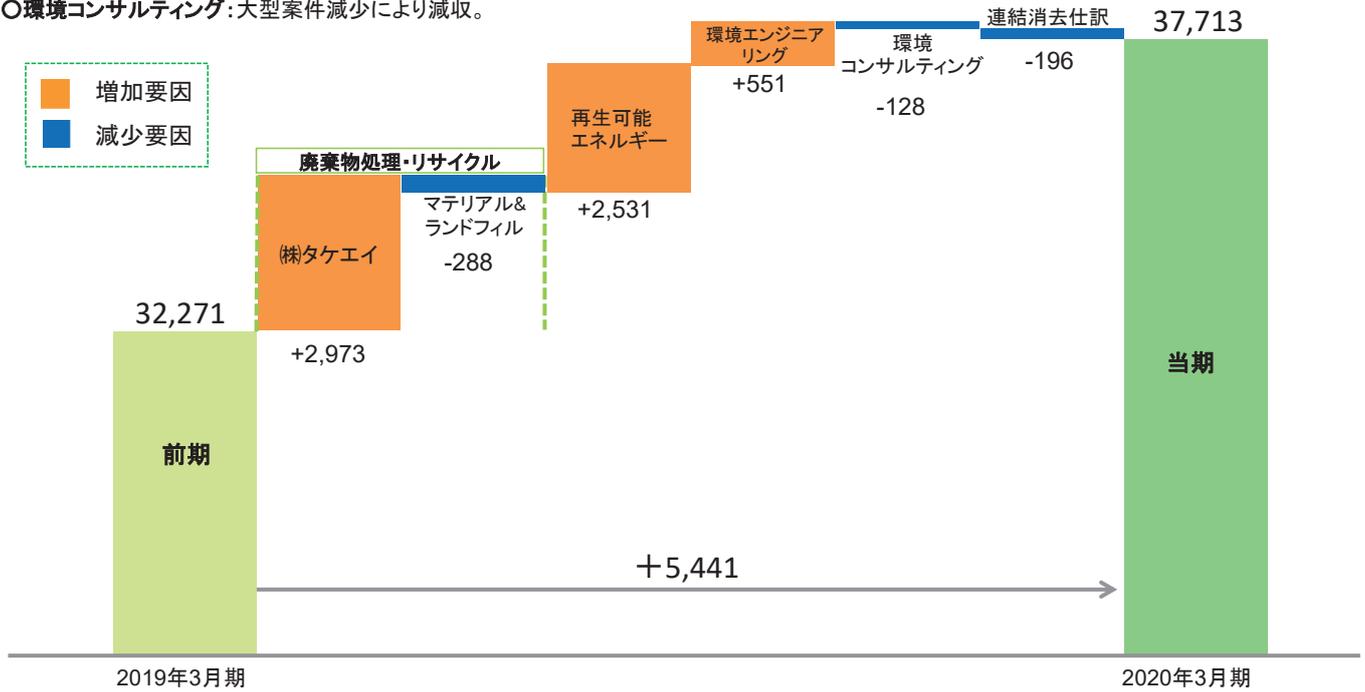


(注) 1: 事業カテゴリーのうち、廃棄物処理・リサイクル事業のタケエイとその他(マテリアル&ランドフィル)を分けて記載
 (注) 2: 事業カテゴリー別の比率は、グループ各社の連結消去前営業利益の単純合算を100とした構成比

事業カテゴリー別売上高 増減分析 (連結)

- ㈱タケエイ**:再開発・インフラ整備に伴う受注が堅調に推移。東北復興PJも貢献。
- マテリアル&ランドフィル**:池田商店の大ロス・外案件減少、タケエイメタルは金属スクラップ相場下落が影響。信州タケエイは搬入量増加等で増収。
- 再生可能エネルギー**:大仙バイオマスエナジーが安定稼働により売上確保。小売電気事業各社も販売好調。
- 環境エンジニアリング**:受注・完工ともに順調。
- 環境コンサルティング**:大型案件減少により減収。

単位:百万円
 (百万円未満切捨て)

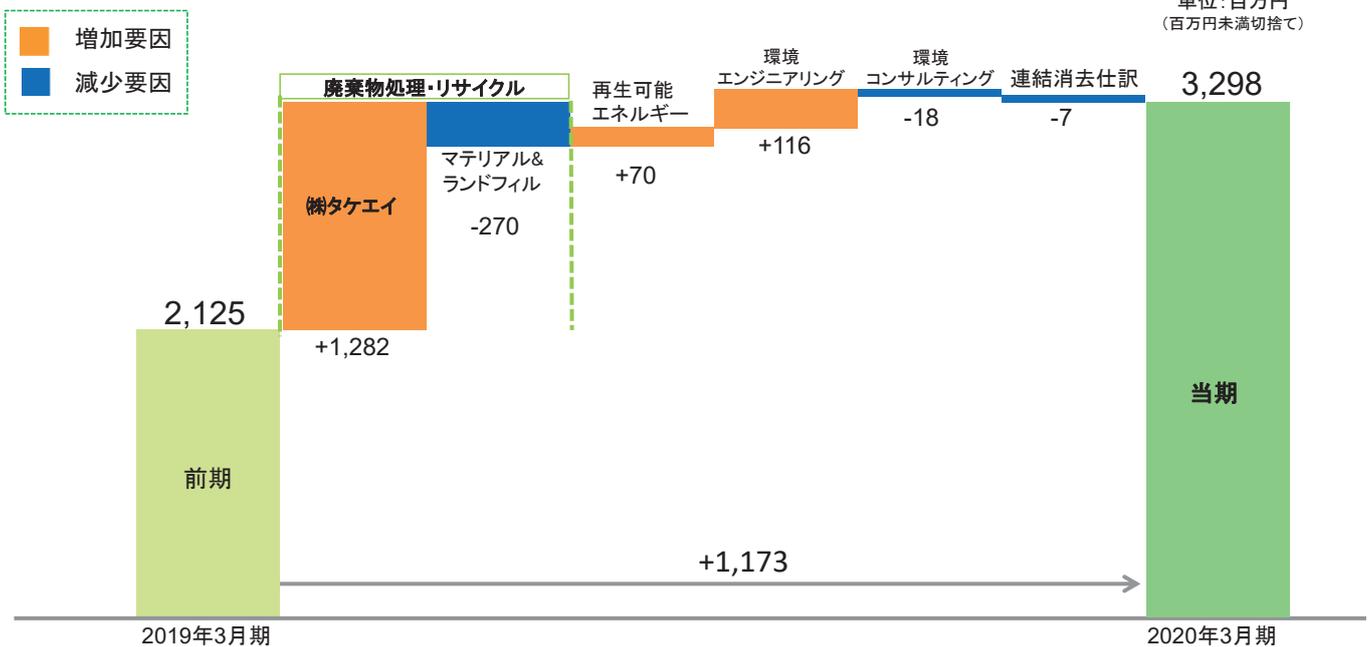


(注): 数値は、グループ各社の連結消去前売上高の増減を単純合算

事業カテゴリー別営業利益 増減分析 (連結)

- ㈱タケエイ**:外部処理費等の上昇に対応した原価低減策の継続及び採算性改善により増益。
- マテリアル&ランドフィル**:廃石膏ボード2社及び池田商店、タケエイメタルが売上減少に伴う減益。信州タケエイは売上増加に伴う増益。
- 再生可能エネルギー**:横須賀BEは計画から乖離したが、その他発電・小売各社は好調で増益。
- 環境エンジニアリング**:受注・完工ともに順調。
- 環境コンサルティング**:大型案件減少による売上減少に伴って減益。

単位:百万円
 (百万円未満切捨て)



(注): 数値は、グループ各社の連結消去前営業利益の増減を単純合算

損益動向 (連結)

Only One Earth



単位: 百万円

	2020/3			第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
	〈累計〉	売上高比	前年同期比	〈四半期〉	売上高比	前年同期比	〈四半期〉	売上高比	前年同期比	〈四半期〉	売上高比	前年同期比	〈四半期〉	売上高比	前年同期比
売上高	37,713	100.0%	+16.9%	8,440	100.0%	+14.4%	9,305	100.0%	+18.3%	9,546	100.0%	+18.7%	10,423	100.0%	+16.0%
売上原価	29,190	77.4%	+15.9%	6,716	79.6%	+14.0%	7,022	75.5%	+15.1%	7,411	77.6%	+21.2%	8,041	77.2%	+13.7%
(うち) 外注費	9,406	24.9%	+14.5%	2,082	24.7%	+0.5%	2,304	24.8%	+22.7%	2,453	25.7%	+15.6%	2,568	24.6%	+19.9%
労務費	6,185	16.4%	+1.7%	1,578	18.7%	+5.4%	1,560	16.8%	+5.1%	1,602	16.8%	+2.6%	1,445	13.9%	-6.2%
経費	15,258	40.5%	+25.6%	3,519	41.7%	+30.9%	3,611	38.8%	+31.8%	3,879	40.6%	+30.3%	4,249	40.8%	+13.5%
(うち) 旅費交通費	558	1.5%	+1.9%	135	1.6%	+1.2%	143	1.5%	+6.1%	142	1.5%	-0.7%	137	1.3%	+1.0%
燃料費	726	1.9%	-5.1%	183	2.2%	-0.1%	180	1.9%	-6.5%	192	2.0%	-7.3%	171	1.6%	-6.2%
業務委託費	910	2.4%	+39.0%	161	1.9%	+19.4%	174	1.9%	+40.6%	225	2.4%	+42.9%	350	3.4%	+46.8%
消耗品費	877	2.3%	+2.9%	210	2.5%	-6.0%	206	2.2%	+1.0%	211	2.2%	+6.0%	249	2.4%	+10.7%
地代家賃	244	0.6%	-0.5%	63	0.8%	+7.2%	61	0.7%	-3.6%	60	0.6%	-3.1%	61	0.6%	-2.1%
リース料	345	0.9%	+19.5%	90	1.1%	+38.0%	84	0.9%	+37.3%	84	0.9%	+6.3%	87	0.8%	+4.5%
修繕費	1,317	3.5%	+11.9%	326	3.9%	+29.3%	283	3.0%	-1.8%	399	4.2%	+4.0%	309	3.0%	+22.1%
電力費	418	1.1%	-1.9%	98	1.2%	+75.7%	116	1.2%	+150.1%	102	1.1%	+208.0%	102	1.0%	-64.8%
減価償却費	2,911	7.7%	+34.4%	608	7.2%	+19.2%	628	6.7%	+21.3%	803	8.4%	+49.8%	872	8.4%	+44.8%
商品・原材料仕入高	5,868	15.6%	+40.1%	1,390	16.5%	+61.4%	1,527	16.4%	+68.6%	1,320	13.8%	+35.6%	1,631	15.7%	+12.6%
仕掛品増減高	-398	-1.1%	—	-190	-2.2%	—	-172	-1.8%	—	-114	-1.2%	—	77	0.7%	-72.9%
他勘定振替高	-776	-2.1%	—	-165	-2.0%	—	-185	-2.0%	—	-297	-3.1%	—	-128	-1.2%	-76.8%
有価物売上控除額(▲)	-480	-1.3%	-10.3%	-108	-1.3%	-21.7%	-95	-1.0%	-28.2%	-104	-1.1%	-24.1%	-173	-1.7%	+35.1%
売上総利益	8,523	22.6%	+20.1%	1,724	20.4%	+15.7%	2,283	24.5%	+29.5%	2,135	22.4%	+10.9%	2,381	22.8%	+24.1%
販売費及び一般管理費	5,224	13.9%	+5.1%	1,253	14.9%	-2.2%	1,319	14.2%	+6.9%	1,346	14.1%	+9.5%	1,306	12.5%	+6.6%
人件費	3,178	8.4%	+3.9%	759	9.0%	-5.2%	834	9.0%	+8.1%	807	8.5%	+7.2%	779	7.5%	+6.0%
その他経費	2,046	5.4%	+7.0%	495	5.9%	+2.6%	485	5.2%	+4.8%	539	5.6%	+13.2%	527	5.1%	+7.4%
(うち) のれん償却	49	0.1%	-25.1%	12	0.1%	-30.9%	12	0.1%	-30.9%	12	0.1%	-30.9%	12	0.1%	+0.0%
営業利益	3,299	8.7%	+55.2%	470	5.6%	+126.5%	965	10.4%	+82.3%	789	8.3%	+13.3%	1,075	10.3%	+55.2%
営業外収益	134	0.4%	+11.2%	33	0.4%	+0.4%	39	0.4%	+72.4%	15	0.2%	-53.0%	48	0.5%	+40.0%
(うち) 持分法による投資利益	35	0.1%	+131.7%	11	0.1%	+31.9%	5	0.1%	+615.5%	-2	0.0%	—	22	0.2%	+1068.8%
営業外費用	407	1.1%	-5.7%	74	0.9%	-70.0%	176	1.9%	+211.9%	79	0.8%	+29.4%	79	0.8%	+15.6%
(うち) 支払利息	171	0.5%	+5.9%	42	0.5%	+6.2%	42	0.4%	+2.1%	45	0.5%	+7.3%	43	0.4%	+7.8%
社債発行費	110	0.3%	+817.2%	—	—	—	104	1.1%	—	6	0.1%	—	—	—	—
経常利益	3,025	8.0%	+66.8%	429	5.1%	—	828	8.9%	+67.1%	724	7.6%	+8.7%	1,044	10.0%	+58.5%
特別利益	231	0.6%	+471.8%	12	0.1%	+24.6%	11	0.1%	-3.3%	175	1.8%	+1489.3%	32	0.3%	+314.5%
特別損失	346	0.9%	-63.7%	1	0.0%	-99.4%	20	0.2%	-97.0%	294	3.1%	+14596.4%	31	0.3%	-70.5%
税金等調整前当期純利益	2,910	7.7%	+222.5%	440	5.2%	—	819	8.8%	—	605	6.3%	-10.4%	1,046	10.0%	+86.2%
法人税等	1,066	2.8%	+104.9%	177	2.1%	+322.8%	299	3.2%	+431.9%	286	3.0%	+7.9%	304	2.9%	+93.0%
非支配株主に帰属する当期純利益	79	0.2%	-25.7%	42	0.5%	+25.2%	61	0.7%	+18.0%	-42	-0.4%	—	18	0.2%	-42.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,766	4.7%	+540.5%	221	2.6%	—	459	4.9%	—	361	3.8%	-14.0%	724	6.9%	+93.9%

※百万円未満 四捨五入

貸借対照表の動向（資産）（連結）

単位：百万円

	2019/3末		2020/3末		増減額
		構成比		構成比	
(資産の部)					
流動資産	18,591	26.2%	21,850	27.2%	3,259
現金及び預金	9,387	13.2%	11,492	14.3%	2,104
受取手形及び売掛金	5,911	8.3%	6,648	8.3%	737
商品及び製品	21	0.0%	80	0.1%	58
仕掛品	915	1.3%	1,163	1.4%	248
原材料及び貯蔵品	1,120	1.6%	1,059	1.3%	-61
未収入金	845	1.2%	1,001	1.2%	155
その他	399	0.6%	414	0.5%	14
貸倒引当金	-10	-0.0%	-8	-0.0%	1
固定資産	51,549	72.6%	57,468	71.6%	5,918
有形固定資産	48,229	67.9%	54,192	67.5%	5,962
建物及び構築物	9,756	13.7%	11,678	14.6%	1,922
機械装置及び運搬具	8,541	12.0%	11,310	14.1%	2,768
最終処分場	494	0.7%	3,793	4.7%	3,298
土地	18,311	25.8%	18,399	22.9%	88
建設仮勘定	10,691	15.0%	8,613	10.7%	-2,077
その他	433	0.6%	395	0.5%	-38
無形固定資産	856	1.2%	776	1.0%	-80
のれん	277	0.4%	228	0.3%	-48
その他	579	0.8%	547	0.7%	-31
投資その他の資産	2,463	3.5%	2,499	3.1%	35
投資有価証券	468	0.7%	423	0.5%	-45
退職給付に係る資産	111	0.2%	103	0.1%	-7
繰延税金資産	338	0.5%	390	0.5%	52
その他	1,830	2.6%	1,858	2.3%	27
貸倒引当金	-286	-0.4%	-276	-0.3%	9
繰延資産	906	1.3%	939	1.2%	32
資産合計	71,047	100.0%	80,257	100.0%	9,210

※百万円未満切捨て

- ⇒ 現金及び預金 <増加要因>・(株)タケエイ(+1,194)
・富士車輛(株)(+258)
・(株)大仙ハイオスマエナジー(+152)
- ⇒ 仕掛品 <増加要因>・富士車輛(株) (+349)
- ⇒ 未収入金 <増加要因>・(株)横須賀ハイオスマエナジー(+364)
・(株)北陸環境サービス(+255)
<減少要因>・(株)大仙ハイオスマエナジー(-402)
- ⇒ 建物及び構築物 <増加要因>・(株)横須賀ハイオスマエナジー(+1,155)
・(株)北陸環境サービス(+668)
・(株)タケエイグリーンリサイクル(+313)
- ⇒ 機械装置及び運搬具 <増加要因>・(株)横須賀ハイオスマエナジー(+2,939)
- ⇒ 最終処分場 <増加要因>・(株)北陸環境サービス(+3,443)
- ⇒ 建設仮勘定
<増加要因>・(株)タケエイ (+416)
・(株)田村ハイオスマエナジー：木質ハイオスマ発電所(+928)
・(株)門前クリーンパーク管理型処分場(+2,169)
<減少要因>・(株)北陸環境サービス：管理型処分場(-3,388)
・(株)横須賀ハイオスマエナジー：木質ハイオスマ発電所(-2,175)

貸借対照表の動向（負債及び純資産）（連結）

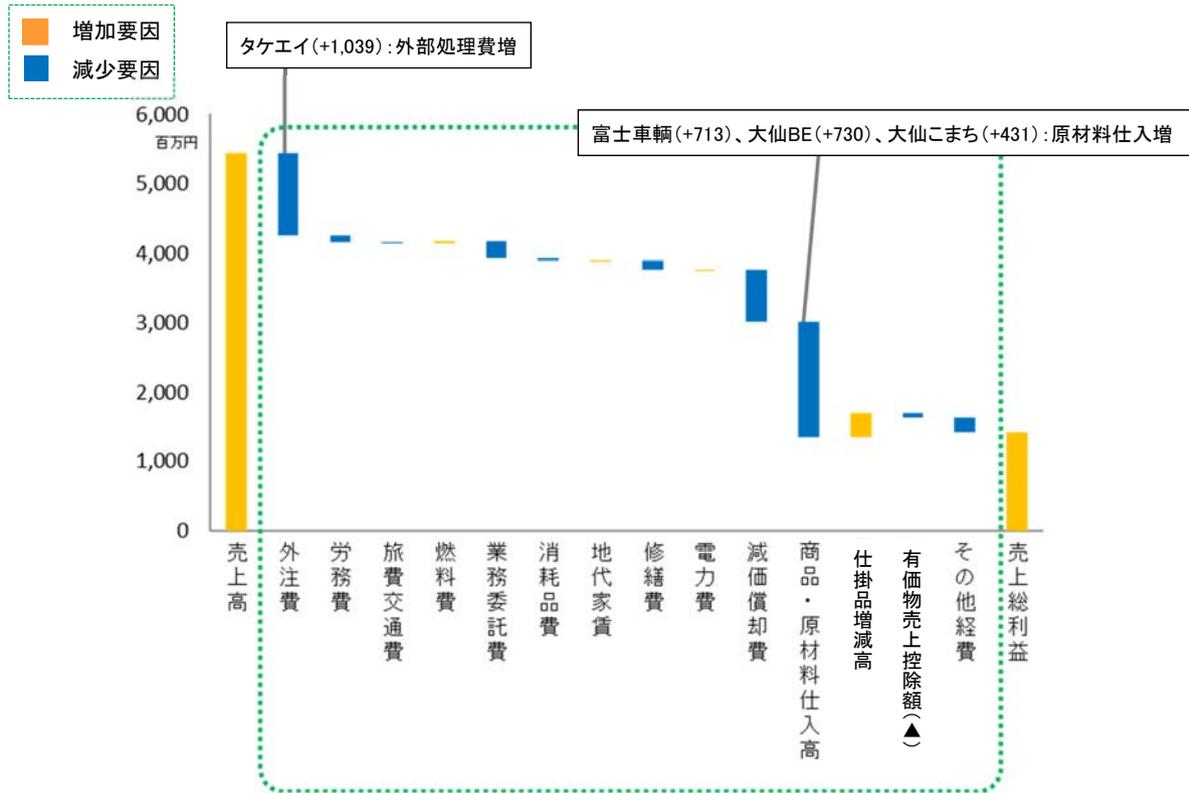
単位：百万円

	2019/3末		2020/3末		増減額
		構成比		構成比	
(負債の部)					
流動負債	12,668	17.8%	15,757	19.6%	3,088
買掛金	1,594	2.2%	1,794	2.2%	200
1年内償還予定社債	70	0.1%	596	0.7%	526
短期借入金	732	1.0%	2,962	3.7%	2,230
1年内返済予定の長期借入金	5,643	7.9%	5,101	6.4%	-541
未払法人税等	386	0.5%	807	1.0%	420
修繕引当金	59	0.1%	76	0.1%	17
機械式立体駐車場関連損失引当金	786	1.1%	481	0.6%	-304
災害損失引当金	—	—	120	0.1%	120
その他	3,395	4.8%	3,815	4.8%	419
固定負債	31,418	44.2%	36,229	45.1%	4,810
社債	430	0.6%	4,821	6.0%	4,391
長期借入金	28,835	40.6%	27,756	34.6%	-1,079
繰延税金負債	377	0.5%	428	0.5%	50
退職給付に係る負債	348	0.5%	362	0.5%	14
修繕引当金	31	0.0%	36	0.0%	5
役員株式給付引当金	39	0.1%	96	0.1%	57
資産除去債務	465	0.7%	794	1.0%	328
圧縮未決算特別勘定	617	0.9%	1,780	2.2%	1,163
その他	273	0.4%	153	0.2%	-120
負債合計	44,087	62.1%	51,986	64.8%	7,899
(純資産の部)					
株主資本	25,992	36.6%	27,315	34.0%	1,323
資本金	6,640	9.3%	6,640	8.3%	—
資本剰余金	7,180	10.1%	7,186	9.0%	6
利益剰余金	13,486	19.0%	14,785	18.4%	1,299
自己株式	-1,314	-1.8%	-1,297	-1.6%	17
その他の包括利益累計額	76	0.1%	44	0.1%	-31
その他有価証券評価差額金	68	0.1%	77	0.1%	8
退職給付に係る調整累計額	7	0.0%	-32	-0.0%	-39
非支配株主持分	891	1.3%	910	1.1%	18
純資産合計	26,960	37.9%	28,270	35.2%	1,310
負債純資産合計	71,047	100.0%	80,257	100.0%	9,210

※百万円未満切捨て

- ⇒ 買掛金 <増加要因>・(株)タケエイ(+109)
・(株)横須賀アーバンウッドパワー(+72)
・富士車輛(株)(+55)
- ⇒ 短期借入金 <増加要因>・(株)タケエイ(+2,000 ※当座貸越)
- ⇒ 機械式立体駐車場関連損失引当金 <減少要因>・富士車輛(株)(-304)
- ⇒ 災害損失引当金(台風被害)・(株)タケエイ(+116)
- ⇒ その他：前受金 <増加要因>・富士車輛(株)(+166)
- ⇒ 社債 <増加要因> 長短合算 +4,917(株)タケエイ)
- ⇒ 長期借入金 <増加要因> 長短合算 -1,347：新規 +4,250(株)タケエイ)
返済 -5,597(株)タケエイ)
- ⇒ 圧縮未決算特別勘定 (株)田村ハイオスマエナジー(+1,163 ※補助金)

粗利益増減分析（売上高・主要費用項目）（連結）



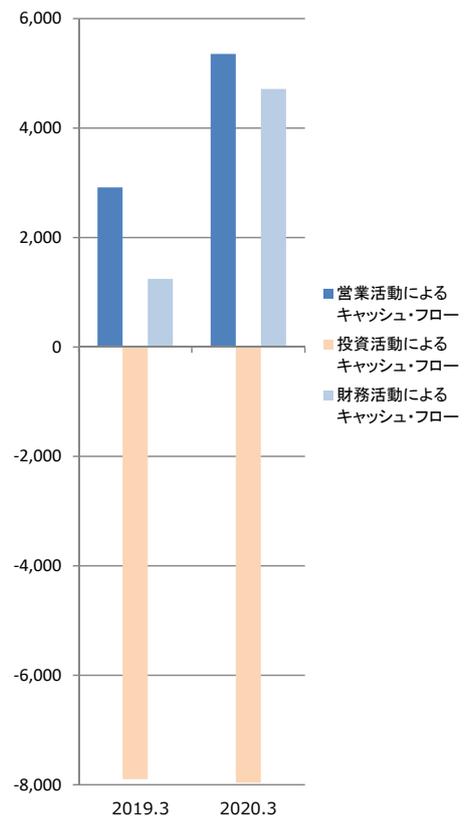
連結キャッシュ・フローの動向

	単位: 百万円	
	2019/3	2020/3
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,916	5,354
投資活動によるキャッシュ・フロー	-7,899	-7,963
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,243	4,714
現金及び現金同等物の増減額(マイナスは減少)	-3,739	2,106
現金及び現金同等物の期首残高	12,661	8,922
現金及び現金同等物の期末残高	8,922	11,028

※百万円未満切捨て

<主な内訳>

	単位: 百万円	
	2019/3	2020/3
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	902	2,910
減価償却費	2,396	3,174
機械式立体駐車場関連損失引当金の増減額(マイナスは減少)	786	-304
投資活動によるキャッシュ・フロー		
国庫補助金による収入	617	1,163
有形固定資産の取得による支出	-8,289	-9,147
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	487	5,139
社債の償還による支出	-	-333
長期借入れによる収入	8,190	4,229
長期借入金の返済による支出	-6,053	-5,871





<設備投資・減価償却費>

<従業員数・車両台数>

単位:百万円

	2019/3 (通期)	2020/3 (通期)	2021/3(予想) (通期)※
設備投資			
連結	8,817	9,109	9,849
(うち ㈱タケエイ)	1,112	1,525	2,537
減価償却費			
連結	2,397	3,175	4,070
(うち ㈱タケエイ)	1,034	1,255	1,550
のれん償却	65	49	49

	2019/6末	2019/9末	2019/12末	2020/3末
期末従業員数(人)				
連結	1,300	1,298	1,293	1,304
(うち ㈱タケエイ)	625	624	610	610
収集運搬車両(台)単体	286	282	288	294
内、復興PJでの使用台数	28	34	29	29

※百万円未満 四捨五入

主な設備投資 2020年3月期 実績

㈱タケエイ	設備・車両更新、大木戸処分場拡大など	15億円
㈱北陸環境サービス	新規処分場造成工事	10億円
㈱門前クリーンパーク	処分場造成工事	21億円
㈱タケエイグリーンリサイクル	新工場建設、設備更新	1.6億円
㈱田村バイオマスエナジー	発電施設整備	9億円
㈱横須賀バイオマスエナジー	発電施設整備	22億円

主な設備投資 2021年3月期 計画

㈱タケエイ	設備・車両更新、処分場拡大など	25億円
㈱門前クリーンパーク	処分場造成工事	26億円
㈱タケエイグリーンリサイクル	新工場建設、設備更新	2億円
㈱田村バイオマスエナジー	発電施設整備	22億円

※2021年3月期連結設備投資及び減価償却費には、市原グリーン電力㈱の計画は含まれておりません。(21ページ【ご参考】参照)

2021年3月期の決算見通し (連結)



単位:百万円

	2020/3 <実績>		2021/3 <予想>			上期 <予想>		下期 <予想>	
	売上高	売上高比	売上高	売上高比	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比	
売上高	37,713	—	41,000	—	+8.7%	18,330	+3.3%	22,670	+13.5%
営業利益	3,298	8.7%	3,400	8.3%	+3.1%	1,000	-30.3%	2,400	+28.8%
経常利益	3,025	8.0%	3,150	7.7%	+4.1%	890	-29.2%	2,260	+27.8%
当期純利益 ◆	1,765	4.7%	1,770	4.3%	+0.3%	430	-36.8%	1,340	+23.5%

◆親会社株主に帰属する当期純利益 ※百万円未満切捨て

・新中期経営計画『2023 to the FUTURE』を策定しました。(3カ年計画:2021年3月期~2023年3月期)
 ※2020年5月15日付「新中期経営計画『2023 to the FUTURE』策定のお知らせ」をご参照ください。

- ①再生可能エネルギー事業を通じて、環境へ一層貢献すると同時に競争力を強化する
- ②廃プラスチック等のリサイクルについて、グループ対応力を強化する
- ③M&Aや協業化によって、総合環境企業としての事業領域を拡充する
- ④循環資源である廃棄物の付加価値化及び製品化を推進し、積極的に技術開発を行う
- ⑤災害廃棄物の処理や、タケエイSDGs推進財団の活動等を通じて社会貢献する

最終年度の業績目標 (連結)

売上高	470億円
営業利益	52億円
当期純利益	28億円

- ・2021年3月期は、新型コロナウイルス感染拡大等に伴い経営環境は不透明であるが、グループ各社の中間処理工場における受入体制を万全にし、収益機会を取りこぼすことのないよう取り組む。
- ・2020年4月30日に連結子会社化した市原グリーン電力株式会社による収益寄与等を見込む。

【ご参考】市原グリーン電力(株)子会社化 及び 循環資源(株)持分法適用会社化

近年注力している再生可能エネルギー事業の更なる拡充を目指し、首都圏最大級の発電出力を誇る木質バイオマス発電設備を運営する市原グリーン電力(株)を子会社化すると同時に、市原グリーン電力(株)に燃料を供給する循環資源(株)を持分法適用会社化いたしました。

市原グリーン電力(株) 概要 ※2

会社設立	2004(平成16)年4月
運転開始	2008(平成20)年2月
資本金	495百万円
業務内容	電力供給業 燃焼設備で発生する焼却灰等の再資源化
株主 (出資比率)	株主 (株)タケエイ (85.1%) 鹿島建設(株) (14.9%)



市原グリーン電力(株) 発電所外観

循環資源(株) 概要 ※2

会社設立	2004(平成16)年8月
資本金	165百万円
業務内容	・バイオマス原料(木チップ、RPF)を中心とした発電燃料の貯蔵・販売 ・市原グリーン電力(株)の発電設備に対する適宜適量の燃料供給 ・市原グリーン電力(株)に対する燃料の品質保証及び供給保証
株主 (出資比率)	新エネルギー供給(株) (70%) ※1 株主 (株)タケエイ (30%)

※1 新エネルギー供給(株) 略称 NES (New Energy Supply)
木質バイオマス発電には大量の燃料を要するため、必要な量を安定的に供給する体制が求められます。この体制を構築するには産廃処理業者同士の協業が不可欠と考えた当社は、同業11社に共同出資を呼びかけ、2004年にNESを設立しました。(現在の出資会社は18社)

※2 企業結合日は共に2020年4月30日ですが、2020年6月30日をみなし取得日といたします。



循環資源(株) 燃料保管ヤード

【ご参考】(株)タケエイグリーンリサイクルと(株)横須賀バイオマスエナジーの合併

グループ一体運営による営業領域拡大により、両拠点とも廃木材・剪定枝等の集荷体制が一層強固になります。

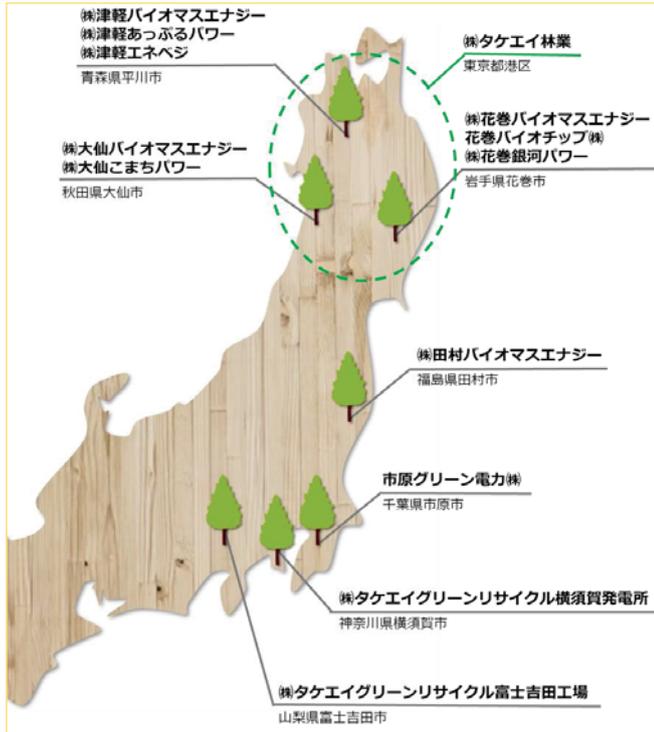


環境への貢献 / 競争力の強化 / 収益性の向上

【ご参考】株式会社タケエイ林業 設立

木質バイオマス発電を行うには、発電用燃料材を中長期的に安定調達することが極めて重要です。そこでこの度、タケエイグループ自らが林業者として森林の保有と管理を行い、各地域の森林組合等とも連携しながら燃料材の確保～木質チップ供給まで一貫して可能にする仕組みを構築するため、(株)タケエイ林業を設立いたしました。

(株)タケエイ林業の事業展開イメージ



タケエイグループの再生可能エネルギー事業拠点

(株)タケエイ林業が保有・管理する山林の伐採→搬出→植林を、地元森林組合に委託



【ご参考】一般財団法人タケエイSDGs推進財団 設立

SDGsの達成に寄与するべく、会社として取り組みを一層強化し、グループ社員の意識を高めるために2020年5月1日付で「一般財団法人タケエイSDGs推進財団」を設立いたしました。設立に先駆けては、福島県相馬市（(株)タケエイ 相馬事業所）、石川県輪島市及び志賀町（(株)門前クリーンパーク及びお隣の町）へサージカルマスクを計25,000枚お贈りしました。



相馬市ホームページより

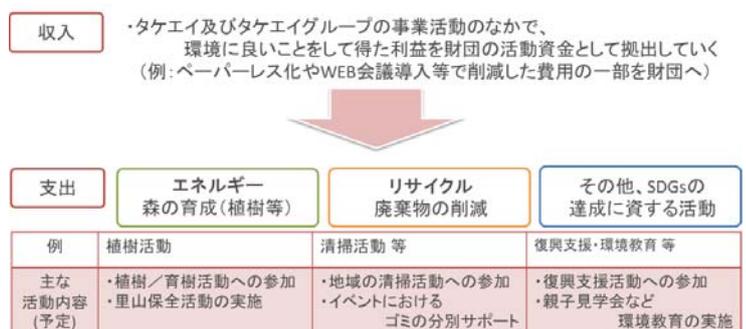


輪島市と志賀町の位置

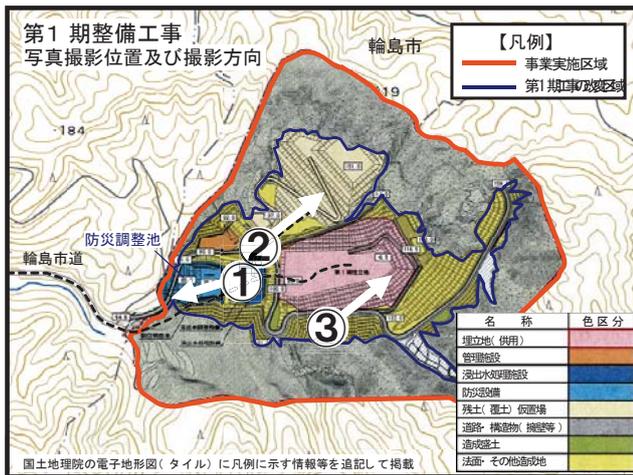
財団イメージ(全体像)



財団イメージ(収入と支出)



工事は順調に進捗しております。引き続き環境に配慮し、安全に工事を実施してまいります。



【ご参考】 富士車輛(株)『キューティック』が「予防伐採」に一役買います！ Only One Earth 

送電線の付近に樹木が生い茂っていると、台風や集中豪雨などによって倒木した際に停電を引き起こす恐れがあります。

樹木や竹を、伐採したその場でチップ化し、効率的に運搬することが可能な富士車輛(株)製のチップングロータリープレス車『キューティック』は、近年甚大化する大規模災害から送電線網を守るための現場で、作業効率向上に大きく貢献しています。



- キューティックの特長**
- ①あらゆる樹木や竹を、伐採したその場でチップ化することが出来る
 - ②破碎したチップは、バイオマス燃料として活用可能
 - ③小回りの利く車なので、狭小現場にも強い

樹木や竹を廃棄物処理施設へ運んで破碎するためには、大型車両や収集運搬のための人員など、コストがかかる

↓

その場でチップ化すれば、処理工程を短縮でき、運搬コスト削減にもつながる



伐ったままではこのように長くて大きな竹も、キューティックに投入すればその場でチップ化できます

破碎機を搭載した車両を自社で製造できるのが、富士車輛(株)の強みです。
キューティックは、富士車輛(株)の**環境事業**と**車輛事業**のコラボレーションを具現化したOnly-One製品です。

この法律により、必要と認められる場合には事業者が民有林の伐採をしやすくなりました

森林経営管理法 2019(平成31)年4月1日施行

適切な経営管理が行われていない森林の経営管理を、林業経営者に集積・集約化するとともに、それができない森林の経営管理を市町村が行うことで、森林の経営管理を確保し、林業の成長産業化と森林の適切な管理の両立を図ることを目的に制定